

北川の通信

2018年10月13日

vol. 124

秋、楽しもう
号

発行 北川かっぱの会

<http://kitagawakappanokai.la.coccan.jp/>

<http://kitagawakappanokai.cocolog-nifty.com/blog/>

清流復活！ 10/21(日)北川クリーンアップに参加下さい



写真：東村山市役所提供

報告 北山公園でなんとアライグマ捕まる

北山公園ではかっぱの会が中心になり、北山公園の生態系を守るためにミシシッピーアカミミガメ（ミドリガメ）、ウシガエル、アメリカザリガニと言った外来生物を罠などで捕らえて駆除しています。

ところがこの公園の池の中に設置した罠で、7月20日はカニカゴの罠の中（写真）で、24日はカメモンドリの中だと、相次いでアライグマの子どもが捕獲されたのです。罠の中にアメリカザリガニが数匹集まっていたことから、これを狙って罠の中に入ってしまった可能性が考えられます。これは大変ショッキングなことです。

アライグマはアニメなどにより、可愛い動物として人気者になっていますが、その姿と裏腹に実は極めて危険な動物なのです。北米原産のなんでも食べる雑食性の哺乳類ですが、既に日本各地で輸入個体の遺棄されたり逃げ出したものなどが繁殖していて、カエルなどの小動

物を片っ端から捕食することから日本の生態系に
 一撃を与えるとして、外来生物法でも特定外来生
 物として駆除の対象となっています。また、狂暴性も
 病をはじめとする病気の媒介、屋根裏などへの侵
 入汚損、果樹や農作物を食い荒らす害獣としても
 となっています。

大きなダメ
 物に指定さ
 あり、狂犬
 入による家
 大きな脅威



これまで東村山では、足跡が確認されたことはあるものの、
 繁殖またはなわばりを形成している個体が存在するような定着
 している証拠がなかったのですが、子どもが捕獲されたという
 ことは、東村山かその近辺で定着していることを示唆します。
 全国的にアライグマの生息拡大が危惧されていますが、なんと
 しても東村山での定着を回避しなければなりません。(ビー永島)



報告 川端会議

9月8日(土)、北山公園整備計画等意見交換会(いわゆる「川端会議」;
 東村山市主催)が開催されました。市や市民団体、一般市民など総勢13名
 の参加者で、北山公園や北川の環境保全策を中心に意見交換を行いました。
 北川かっぱの会からは4名が参加しました。

当日は、市より6月の菖蒲まつりの状況報告や北山公園で実施が予定さ
 れている工事の内容などについて説明がありました。トウキョウダルマガ
 エルなど在来種の保全に大きく寄与することから北川かっぱの会として注
 目している「北山公園水路改修工事」については、9月末に施工業者(造
 園業者を想定)が決定し、工事が実施されることとなります。また、4月
 の「しょうちゃん池のかいぼり」後の生物相の変化を中心に、年度末まで
 生物調査が継続的に実施されています。

北川かっぱの会からは、ここ6年間の北山公園での外来生物
 の捕獲状況等について説明を行いました(表参照)。



北山公園周辺における外来生物捕獲数 単位: 個体数 ※2018/9/24現在

	2013	2014	2015	2016	2017	2018年※
ウシガエル(成体)	2	1	3	42	102	26
ウシガエル(幼生)	10	24	約550	192	77	280
アメリカザリガニ	99	126	約550	約760	765	328
アカミミガメ	9	11	4	2	5	2
クサガメ	13	10	8	1	4	2
アライグマ	0	0	0	0	0	2

今回、最も議論になったのは、北川クリーンアップ作戦です。次回10月21日の北川クリーンアップより、集合場所が北山公園管理事務所前、宅部遺跡橋、水道橋の3ヶ所に変更となります（これまでは4ヶ所）。これまで精心幼稚園前で集合し、西武園線ガード下から下流で実施していた区間のクリーンアップを休止し、上流側の日向橋（狭山公園下）～水道橋（桜並木道）や宅部遺跡橋～大堰橋までのクリーンアップを強化する方向で議論を行いました。また、北川クリーンアップの市の担当課が、みどり公園課から道路河川課に変わることになりましたが、当日は道路河川課の方3名も含め、北川の環境を保全していく視点から意見交換を行いました。

2018年10月～12月 活動スケジュール

ホ は **ホランティア募集** の略

性別、年齢、経験不問。HP、ブログ（検索:北川かっぱの会）
または直接会員にお知らせください



定例川そうじ 毎月第2土曜 9-11時

11/10、12/8(土) **ホ**

集合：北山小正門前

秋の北川クリーンアップ **ホ**

10/21(日) 10:00-12:00 北山公園管理事務所前、宅部遺跡橋、または水道橋集合。雨天中止。河川とその周辺の清掃。長靴、手袋など作業ができる服装で。終了後、北山公園で**外来生物慰霊祭**を開催

トトロの森と北川たんけん **ホ**

10/27(土) 9:00～14:00 トトロのふるさと基金と共催。北川でガサガサ体験、北山公園と八国山、トトロの森 37号地をウォーク（約8km）。トトロのふるさと基金への申込みが必要（基金のHP参照）。

北山いきものクラブ **ホ**

11/10(土) 毎月第2土曜

13:00～15:00頃 北山公園善行橋付近で開催。北川や北山公園で捕獲した魚類等の展示と魚とりなど。雨天中止。

北山公園の外来生物駆除 **ホ**

11/10(土) 13～14時頃にワナの仕掛けと回収・点検、小雨決行。なお、不定期での点検作業も実施（日時はかっぱブログに掲載）

小学校土曜講座 **ホ**

富士見・南台小 野鳥観察

11/24(土) 午前：東村山中央公園、午後：空堀川。雨天中止

多摩湖緑地・原風景を守る会活動日程

10/17 (第3水曜) 13:30～

10/20 (第3土曜) 13:30～

11/4 (第1日曜) 9:00～

畑にて維持管理作業と収穫と落葉かき

北川かっぱの会 定例会

11/24(土) 17:00-18:30

サンパルネ3階

3月頃までの活動

予定を中心に検討します。

夏毛・冬毛

最近抜け毛がますます多くなったなあ～悲しいなあ～でもどうしようもないなあ～・・・と半ばあきらめていたところ、美容室から戻った家人曰く「秋は誰でも抜け毛が多くなるんだって!!」。私事、他の要因が分かっているため、あまり慰めにはならないけれど、人によっては相対的に2～3倍の本数になるらしい。主要因としては夏場の紫外線が疑われているらしいですが。

ところで、ヒトを除くほ乳類の毛は主に防寒の役割を担っていますが、常に生え替わっています。その中でも四季のはっきりした地域では、季節により夏毛と冬毛で大きく違うものが多いです。

身近なネコなどの例ですと、

夏毛：少し固めで密度が低い→通気性良

冬毛：細い毛が一つの毛穴から複数本生えてふわ

ふわ→防寒性良
という違いです。



肥えるわけではありません

加えて、北の降雪地でも冬眠しないホッキョクギツネやウサギの仲間などの冬毛は真っ白になり雪中での保護色となります。なお、商品の毛皮としては、どれも冬毛が良質ということになっています。ちなみに、鳥の羽も徐々に生え替わっていて、ほ乳類の夏毛・冬毛と似ていますが繁殖期の夏には艶やかになるものがありますし、高山に棲むライチョウは、冬には真っ白になります。

<康>

冬毛でいいから
生えてきてくれえ～



ザリガニも触れます



一番人気はカヌー



紙芝居も人気です



水路でガサガサ

報告 第23回 北山わんぱく夏まつり

天候にも恵まれ夏空のもと、8月5日(日)に第23回北山わんぱく夏祭りが開催されました。私は、当日のみの参加でしたが、無事に開催できたのも多くの準備に携わった方々のおかげです。お疲れさまでした！今年もカヌー体験、水族館、ザリガニ釣りなど子供たちが喜びそうなイベントが盛りだくさん、私は、水族館とカヌー体験のお手伝いをしました。

水族館で、やっぱりお客さんの目を引くのは、ウシガエルのようです。なんといってもあの大きさとパワフルに飛び跳ねるあの動きですからね！毎回、「こんなに大きいんですね！？これがオタマジャクシですか！？」という、驚きの声をいただきます。外来生物なのは残念ですが。正直、私もこちらに来て、初めて見て、つかんだ時の力の強さには圧倒されました。水槽展示では、フナやオイカワなどたくさんの魚たちが泳ぎ回っていて、子どもたちが目を輝かせていたのが印象的です。個人的には、案外、ドジョウやヨシノボリなど底の方にじっとしている魚をずっと見ている方が癒されたりします。あとは、貴重なトウキョウダルマガエルが今年も見つかったようで安心しました。子供たちは秘密の場所を知っているのか、よく捕まえてきます。残念ながら野生で生息している姿をまだ見たことがありませんが・・・

カヌー体験では、午前、午後ともに多くの子供たちが来てくれました。大人気イベントでリピーターが多く、「去年も来たんだ！」と教えてくれる子や中には午前中にもカヌーをやったというヘビーユーザーもいました。子供たちのたくさんの笑顔を見ることができて本当に楽しかったです。そして、一通り終わった後に私も体験させてもらいました。みんなの様子を見て、「子供ができるから自分もできるだろう」と思っていたのですが・・・なかなか、重心が安定せず、パドルさばきもいまいちで、撮ってもらった写真は必死な形相そのもの。「もっと、笑顔で！」と終始、声援(?)を受けていました。体験して思ったのですが、カヌー遊び、ハマりそうです。

このような感じで、私の感想文になってしまいましたが、かっぱの会の皆様も含めまして、東村山市民の方々とお祭りに参加できて本当に楽しかったです。来年もぜひ参加したいです。(田中)

報告 北山小土曜講座 八国山虫捕りハイク



ぼくのカブトを見て

娘が3年生の時に引っ越してきて最初の夏、風呂場の網戸にノコギリクワガタが飛んできて、東村山って凄いなって思いました。その娘も21歳になり、京都の町の真ん中に住んでいます。

今回は、学校からの帰り道に虫を捕まえて来ては見せてくれる職

場の北山育成室の子どもたちが「行こうよ。」と誘ってくれ参加しました。

7月14日午前5時、久しぶりの早朝の八国山で「カブトムシ」を子どもたちと探せる幸せにわくわくしました。

しかし、行けども行けどもカブトムシには出会えず…、子どもたちは、カブトムシを取れずそのまま終わってしまうのか…と置いていたら最後の最後にカブトムシを自分で捕ることが出来本当に良かった。

その後も何回か「カブトムシ取りに行ったよ。」と聞いています。

参加者：子ども32、保護者21、スタッフ5名
(野口優子)

報告 南台小・富士見小土曜講座＝自然とあそぼう「八国山昆虫観察」

7月15日、かっぱの会が支援し、南台・富士見小土曜講座「八国山昆虫観察」が行われました。熱中症が心配される日々が続いていたので、コースを短縮するなど、この日も十分注意しながら実施しました。

基本的に林の中だけを歩くようにしましたが、夏に最初に現れるセミ、ニイニイゼミやヒグラシを捕まえることができました。そして、虹色に輝く華麗なヤマトタマムシを見つけることもできました。さらに、近い仲間のウバタマムシ



(写真)も見つけました。これは地味ですが絶滅危惧種です。また、歩道に落ちていた小さな蝶の翅の破片から、オオムラサキと言いつた子どもがいてびっくりしました。

厳しい暑さの中でも子どもたちは元気いっぱい、楽しく虫たち

と過ごすことができました。(ビー永島)

報告 北山小土曜講座 北川の魚と生き物をのぞいてみよう



9月1日(出)、穏やかなお天気の下、北山公園で子ども達と魚取りをしました。児童32名、保護者20名、スタッフ5名が参加しました。

子ども達は、北山公園や北川の生き物の話を聞いた後、魚の捕まえ方を伝授してもらいました。その後、北山公園の水路に散らばり、

思い思いに網をすくいました。魚果が挙がるたび、あちこちから歓声が聞こえました。

持って来た小さな水槽を魚で一杯にした子、ザリガニ捕りに燃えて一人で何匹も捕まえた子など、それぞれに楽しむ子ども達。最後は、エビ、ドジョウ、オイカワ、タモロコ、カエル等、捕まえた生き物を大きな水槽やバケツに入れ、みんなで観察しました。ご満悦の子ども達は一部を持ち帰り、残りを逃がしてあげました。

この日のように、いつまでも北山公園や北川が子ども達の歓声が響く場所でありますように！(ふじみ)

報告 北山小土曜講座 トンボ捕りとヤゴイカダ作り



10月6日午前北山公園で第6回目の講座トンボ捕りを行いました。まだ、暑い日でしたが雨が夜中に降ったためかトンボの数が少ない

ようで、トンボが捕まらずイナゴなどの無数のバッタ類をかご一杯に捕る子や小魚やザリガニを捕る子どもも現れてしまいました。

それでも1時間半ほど虫取りをした結果は、それなりに赤とんぼの見分け方を解説しました。

公園から学校のプールに戻り、今度はヤゴイカダです。イカダの補修はお父さん、スタッフが行いイカダの上に稲刈りで残ったワラと学校内で取った雑草を置き、人

工の浮島を作りました。昨年は10月の同じ時期にイカダを浮かべ、この時期ではトンボが少なく産卵数が少ないことを危惧しましたが、今年の春の結果はたくさん産卵していました。多分、今年も多くの特産トンボに産卵場所を提供できるでしょう。来年のヤゴ救出作戦に思いを込めました。参加児童27、保護者8、スタッフ5名。(遊星歯車)

ご寄付に深謝

片山英世様、佐藤万博様、榮藤恵美様。また、北山わんぱく夏まつりの時に多くの方々からカンパを頂戴いたしました。ありがとうございます。

北川かっぱの会刊行物

『未来の川へ・北川復元プラン』
北川復元プランのパイロットケースとして、北山公園周辺の北川が変わりつつあります。21世紀の未来の川の姿を探る一冊。頒価1000円 送料82円
新一般会員には無料贈呈

『北川流域マップ-未来の川へ-』
北川公園、八国山を歩くための地図。流域の生き物ミニ図鑑付き。A2両面版 頒価200円

『八国山・北山公園の
生き物観察ガイド』
A2両面版の生き物ミニ図鑑と解説。観察会などイベントで無償配布。
NEW! 『北川・八国山・北山公園
いきものマップ』
かっぱの会20周年記念発刊。

北川・八国山・北山公園では、どこにどんな生き物が見られるか、環境ごとに誰もが普通に見られる種を主体に示したマップ。観察会などイベントで無償配布。A2両面版。

かっぱの会会員募集

狭山丘陵の東麓、トトロの故郷北山公園一帯の緑の保全とその前を流れる北川の清流復活という夢をもって作られた会です。自然と野外の遊びが大好きで、趣旨に賛同、活動に参加できる方(参加、入退会自由)を広く募集しております。

●会費 一般会員：年間3000円
支援会員：2年間で2000円
学生は2年間で1000円
「かっぱ通信」年5回をお送りします。

●問い合わせ・申込み先
<http://kitagawakappanokai.cocolog-nifty.com/blog/>

●会費振込先
〔郵便振替 00120-6-104476〕
〔りそな銀行東村山支店
(普)3605694〕



加入者名 北川かっぱの会
●かっぱ通信は市内の公民館と図書館に置いています。
●編集後記 酷暑の夏が終わり、台風が9月が過ぎ、10月はやはりいい季節。オリンピックはやはりこの季節だと思うが、それが実現しない。商売とスポーツの融合なのか。理想は見えない。(遊星歯車)
●発行:北川かっぱの会
連絡アドレス CZT12221@nifty.ne.jp